学費の公私間格差是正、『私学も無償に』、就学支援金制度の維持・拡充、

私学助成署名推進ニュース

全国私私学助成をすすめる会(事務局：全国私立学校教職員組合連合)
No.30　2022年12月5日（月）

新潟　県議会へ私学助成署名提出・要請行動

署名48,773筆を県議会事務局に　紹介議員は6名

にいがた私学助成すすめる会ニュース
子どもたちが学費を心配せず、学校で学べるように、私学の学費も無償に！
２０２２年１２月５日

新潟県私学の公費助成をすすめる会
新潟市中央区弁天橋通 1-13-13
TEL 025-286-7600

来年度県予算で私助成増額・拡充の願い受け止めて！

県議会あて請願署名48,773筆提出

県議会事務局長「署名の思いは議会へ伝えていきたい」

「県私学の公費助成をすすめる会」は一日、県議会の加茂辰也事務局長に会い、署名紹介議員のひとり小山芳元県議会議員立ち会いのもと、この日までに集約された四万八七七三筆の県議会宛署名を提出しました。

「すすめる会」の中村直美会長は、「四万九千余りの署名に込められた思いを議会へ伝えていきたい」と話すと、加茂事務局長は「署名の思いは、議会に伝えていきたいと思います」と応じました。

コロナ禍での感染防止対策から要請人数が六名に絞られ少人数での要請になりましたが、中村会長と各私立高校教員は来年度県予算で私学助成予算が増額・拡充されるよう議会での十分な審議と請願書の採択を強く願い、要請を終えました。

加茂議会事務局長（写真右端）に要請する「すすめる会」の中村会長（写真中央）、私教連の宮腰一委員長（写真左端）ら要請団。
（一日　新潟県庁・議会事務局長室）

【署名紹介議員】

請願署名の提出にあたり、紹介議員を引き受けていただいた方は、以下の議員の方々です。
○順不同・敬称略

小山　芳元（未来にいがた）
長部　登（未来にいがた）
池田　千賀子（未来にいがた）
樋口　秀敏（未来にいがた）
遠藤　玲子（日本共産党）
佐藤　浩雄（無所属）
＊（）内は所属党会派

※「すすめる会」では、県議会議員五十二名全員に紹介議員の依頼をおこないました。

署名提出に先立ち記者会見を行う中村会長ら「すすめる会」メンバー。
学費捻出のためアルバイトせざるを得ない生徒の実態や専任教員不足から職場の多忙化の実態などを語り、私学助成の増額・拡充の必要性を訴えました。
（１日　県庁・県政記者クラブ）

私立高校助成や少人数学級訴え

教育関係2団体県会に請願提出

県内の教育関係2団体が1日、県庁でそれぞれ会見し、教育施策の充実を訴えた。各団体は私立高校の学費助成の拡充や、少人数学級の実現などを盛り込んだ請願を県議会に提出した。

県内の私立高校の教員や保護者らでつくる「県私学の公費助成をすすめる会」は、私立高の授業料に対し県独自の新たな補助制度を求めた。

国は2020年度に私立高の授業料無償化の対象を、年収590万円未満世帯に拡充した。同会によると、28都府県が独自に対象世帯を拡充しているが、本県は実施していない。中村直美会長は「公立、私立関係なく、子どもたちが希望する学校で学べる環境をつくるべきだ」と訴えた。

県公立高校教職員組合などでつくる「ゆきとどいた教育をすすめる県民の会」は、小中高校で将来的に「20人以下学級」を見据えた少人数学級の実現や、学校給食費の無償化、個室トイレでの生理用品の配備など8項目を盛り込んだ請願を提出した。

寺崎洋子代表は「子どもたちが安心して学べるように、公的支援を充実してほしい」と話した。

教育関係施策の充実を求めて会見する「ゆきとどいた教育をすすめる県民の会」のメンバー＝1日、県庁

⇒　私学助成署名の県議会提出を伝える新潟日報記事（十二月二日付）。この日は、少人数学級実現などを求める「ゆきとどいた教育をすすめる県民の会」の署名提出もありました。

国会あて署名は引き続き継続
5万筆突破を！

私学助成署名集約院内集会

▮12月9日(金)11:00開会
▮砂防会館・別館B

※この日、「すすめる会」は要請団を組み地元選出の国会議員へ私学助成署名紹介議員依頼など要請を行います。

私学助成全国署名（国向け）集約は12月6日と8日、必ず全県から報告を！
院内集会への国会議員の参加要請も強めましょう。報告は6日まで。